

2019年度 第2回指導医制度委員会 議事録

日時：2019年12月13日（金）13時00分～15時00分

場所：マイナビルーム 2F-Y（東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2F）

出席者：前田 健（理事）、田中 信弘（委員長）、江幡 重人、海渡 貴司、佐藤 公昭、竹林 庸雄、筑田 博隆、星野 雅俊

欠席者：伊東 学、尾形 直則、水谷 潤、渡邊 航太

【審査会】

出席者全員にて、2019年度新規申請者 84名、継続申請者 146名（うち猶予申請者 2名）の審査が行われた。その結果、新規申請者では、合格者 75名、不合格者 1名、保留 8名、継続申請者では、合格者 143名、不合格者 1名、保留 2名であり、その保留の 10名については、2019年12月23日までに不足分などの書類や症例を再提出させ、それらの内容を理事、委員長で再審査して、その後に合否認定をすることになった。

【委員会】

< 審議事項 >

審査会にて問題となった申請者についての検討

1) 新規申請者の B 判定 1名について

3名の判定者のうち2名が B 判定となっている申請者がいた。委員会の判断にて不合格と判定した。

2) 新規申請者保留（8名）

公式に発表・出版したことがわかる業績が提出されていない人	2名
患者の個人情報を消していない人	2名
推薦状の不備が認められた人	3名
代表症例の不備が認められた人（BKPが含まれていた）	1名

3) 継続申請者不合格の 1名について

継続に必要な医療安全単位の受講証明書原本の提出がなく、受講の記録も確認されなかった申請者がいた。委員会の判断にて不合格と判定した。

4) 継続申請者保留（2名）

理由書の不備が認められた人	1名
日整会脊椎脊髄病医の不備が認められた人	1名

< 報告事項 >

1) 従来経皮的の小手術として扱われていた全内視鏡脊椎手術、全内視鏡ヘルニア摘出術は経皮的の小手術に該当しないと判断され、指導医新規申請、更新時の症例として提出可能とした。指導医申請における Q&A を変更した。

2) ホームページ上への 1) 医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位などの受講、2) 日本脊椎脊髄病学会の参加履歴の表示について、両者ともに次回学術総会より可能となる予定となった。